

## 芳賀赤十字病院施設・設備等の共同利用運営規程

### （目的）

第1条 この規程は、芳賀赤十字病院（以下「病院」という）と地域の医師等医療従事者が病院の機能の一部を共同利用することにより、それぞれの機能を補完し、地域医療の発展に寄与することを目的とする。

### （共同利用できる者）

第2条 前条の目的のために共同利用できる者は、地域の次の者とする。

- (1) 医師、歯科医師
- (2) 薬剤師
- (3) 看護師
- (4) その他の医療従事者

### （共同利用の対象施設、設備等）

第3条 共同利用の対象となる施設、設備等は次のとおりとする。

- (1) 共同利用のための専用病床（以下「開放病床」という）
- (2) 医療機器（CT、MRI、胃カメラ、RI）
- (3) 図書室
- (4) その他病院長が必要と認める施設、設備等

### （開放病床の利用）

第4条 開放病床の入院患者の診療等は、病院担当医師（以下「主治医」という）と地域の医師または歯科医師（以下「副主治医」という）が共同して行うものとする。  
また、主治医が不在の場合には、当該診療科部長または副部長が代行する。

2 開放病床の詳細な利用は別に定める。

### 附 則

本規程は平成24年4月1日から施行する。

## 芳賀赤十字病院開放病床運営要領

### 1 開放病床の設置

「芳賀赤十字病院施設・設備等の共同利用運営規定第3条」に定める開放病床は、一般病床のうち5床とする。

### 2 開放病床の取り扱い

#### (1) 入院

開放病床への入院は、以下の手順により行う。

- ①地域の医師または歯科医師（以下「副主治医」という）は、「開放病床入院依頼書」と診療情報提供書を芳賀赤十字病院（以下「病院」という）の地域医療連携室へ事前にFAXする。
- ②当該診療科部長または副部長は、「開放病床入院依頼書」と診療情報提供書を基に病院担当医師（以下「主治医」という）を決定する。
- ③主治医は、副主治医と診療内容について電話で調整を行う。主治医が不在の場合には、当該診療科部長または副部長が代行する。
- ④主治医は受入れの可否を地域医療連携室に報告し、受け入れる場合には「開放病床入院予約承諾書」を作成する。
- ⑤入院が決定した場合、副主治医は当該患者に診療情報提供書を交付し、入院の説明を行う。
- ⑥当該患者は、入院当日に病院の地域医療連携室に診療情報提供書を提出する。

#### (2) 退院

開放病床からの退院は、以下の手順により行う。

- ①退院は、主治医と副主治医が協議して決定し、退院時に主治医は、患者に病院の発行する診療情報提供書を交付する。

#### (3) 共同診療・指導

入院患者の診療・指導は、以下の手順により主治医と副主治医が共同で行う。主治医が不在の場合には、当該診療科部長または副部長が代行する。

- ①副主治医は開放病床を訪問して、共同診療・指導を行う。
- ②副主治医が共同診療・指導のために開放病床を訪問する場合は、事前に地域医療連携室に電話で訪問時間等の調整を行う。
- ③入院患者に対する薬剤投与、検査等の指示は、すべて当該病床にて行うものとする。

### 3 開放病床利用の申し込み

申し込みは、平日の8時30分から16時30分までとする。なお、祝祭日、創立記念日（7月1日）、12月29日から1月3日までを除く。